

二級自動車整備科

概要

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士		
工業		自動車整備 専門課程	二級自動車整備科	平成 20 年文部科学省 告示第 12 号				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,911 単位時間		707 <small>単位時間</small>		1,292 <small>単位時間</small>		
				1,999 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
500 人		278 人	4 人	16 人	0 人	16 人		

カリキュラムの編成方針

国土交通省で定める『自動車整備士養成施設の指定等の基準』における一種養成施設の「二級自動車整備士の養成課程」に準拠した教育計画に則り、学科、実習を2年間で編成しております。

社会人としてのコミュニケーション能力や状況判断力及び接客能力の向上を目的とした教育を実施しております。

実習は少人数グループで、基本的な整備技術の修得のほか、豊富な教材車両を使用し各メーカーの車両整備ができる内容となっております。

成績評価の基準と方法

一般教養学科の学習評価は60%以上の出席があった教科について、履修を認めております。

専門学科の学習評価は90%以上の出席があった教科について、教科ごと学期ごとに中間試験及び期末試験を行い、平均得点60点以上で履修を認めています。

実習の学習評価は95%以上の出席があった教科について、実習ローテーションごとに実技試験を行い、試験の得点を70%、課題等の提出資料を20%、平常の学習態度を10%で換算し、合計60点以上でその教科の履修を認めております。

各教科の評定は次のとおりです。

評価 (点)	100～80	79～70	69～60	59以下
評 定	A	B	C	D

なお、再試験により合格した教科の得点は60点として認められます。また、追試験を

行った場合は追試験得点の90%がその教科の得点として認められます。

卒業・進級の認定基準

すべての教科の履修が完了した学生は、進級または卒業が認められます。未履修の授業科目が有る学生は申請により補習授業や再試験を行うことで未履修科目を解消することができます。

また、卒業を認められた学生は、同時に工業専門士の学位が付与されます。

修学支援等

- 入学後間もなく担任と学生の個別面談を実施し、夢や抱負、悩みごとなどを話し合います。
- 担任と学生との個別面談は、就職活動の開始時など学生の希望があれば随時行います。
- 毎年、6月に保護者懇談会、8月に保護者との個別面談会を開催して、教育活動や学生の情報を保護者に提供しております。
- 二級自動車整備士学科試験のため特別授業を編成して、合格率のアップをサポートしております。

進路指導

< 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） >

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む)	その他
133人	77人	54人	2人
(100%)	(57.9%)	(40.6%)	(1.5%)

< 主な就職等 >

主な就職先は各メーカー系ディーラーへの就職率93%で、第一希望内定率が96%以上です。また、出身地へのUターン就職もサポートしております。

< 就職指導内容 >

本校では、学生の希望を第一優先に就職活動をサポートしております。

履歴書の書き方、面接試験の指導、企業訪問等の指導は主に担任が行い、11月から1月にかけては、進路指導部が1日につき1社の関連企業を招き、校内で会社説明会を開催しています。

< 主な学修成果 >

本科を卒業すると二級ガソリン自動車整備士試験及び二級ジーゼル自動車整備士試験の受験資格（実技試験免除）を持つことができます。また、在学中にガス溶接作業者

資格、アーク溶接作業者資格、中古自動車査定士資格、損害保険募集人資格など多数の資格を取得することができます。

中途退学者等

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
285 人	1 人	0.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別相談及び保護者との面談		